

## TOPIC

**脱炭素社会の実現に向けて！  
環境省の事業に採択され、カーボンフットプリントを算定、公表しました！**

佐川急便は、環境省による製品・サービスのカーボンフットプリント(以下CFP)\*算定を支援する事業に採択され、CFPを算定・公表しました。対象サービスや算定範囲は以下に示すとおりです。これまでも、さまざまな施策・サービスを通じてCO<sub>2</sub>排出削減に向けて取り組んできましたが、今後はそれらの取り組みを加速させ、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

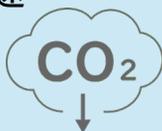
※カーボンフットプリント:製品やサービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでのサイクル全体を通じた温室効果ガス排出量を、CO<sub>2</sub>排出量として換算した値のこと



### 当社のCFP算定の目的

#### ①温室効果ガス排出削減の加速

各工程の排出量を見える化し、より詳細な削減策を実行します。



#### ②再配達削減

再配達にかかる環境負荷を可視化し、再配達が与える影響を消費者の皆さまに認知していただくことで、再配達の抑制に取り組めます。



### CFP算定対象

対象サービス

**飛脚宅配便**(3辺合計160cm以内・重量30kg以内のお荷物)  
※平均重量で算出

算定単位

**1個当たり**

飛脚宅配便のCFP算定対象とするライフサイクルステージと構成要素



CFP算定に関する詳細はこちらから！



### 担当責任者の声



CSR推進部 担当者

当社は、気候変動をはじめとした環境課題に対し、車両の電動化や社有林の森林保全、再配達抑制などの取り組みを進めています。再配達抑制に関しては、配達日時を変更できるスマートクラブ、LINE、置き配サービスなど便利なサービスを展開していますが、これらの取り組みを加速させることを目的として、可視化した再配達のCO<sub>2</sub>排出量を消費者の皆さまにお伝えしご協力いただきたいという思いから、CFPを算定しました。算定結果は伝票台紙に表示するなど、多くの方の目に触れるような取り組みを計画しています。今後も、算定結果を活用し消費者と一体となった再配達抑制の取り組みを進めていきます。

## “再配達ゼロ”のマンションへ！ マンション内配送サービスの実証実験に参画！

当社は、大和ライフネクスト株式会社様が都内で行う「マンション内配送サービス」の実証実験に、他の物流事業者とともに参画しています。このサービスは物流事業者の荷物をマンション管理員が受け取り、その後各住戸に配達するシステム。物流事業者にとっては「再配達ゼロ」になる大きなメリットがあり、居住者にとっても荷物を必ず受け取ることができ、利便性向上につながります。再配達削減や居住者の利便性向上を目指したこの実証実験は、対象マンションを数棟増やし、今後も継続して検証を行ってまいります。

※本実証実験は2024年11月に開始し、現在も継続しております



(左)荷物はマンション内に設置する専用倉庫に保管  
(右)物流各社の荷物が保管される様子

## 荷物の伝票番号でオートロックを解除！？ オートロック物件の「置き配」対応が可能に！

「置き配」の需要が高まる中、オートロック物件では、配達員が中に入らず「置き配」を行うことができません。そこで当社は、荷物の伝票番号などをオートロックの解錠キーとする次世代型宅配システム「Pabbit※」を試験的に導入しました。「Pabbit」搭載のインターホンがあれば、オートロック物件でも「置き配」が可能になります。

※Pabbit:アイホン株式会社様と株式会社PacPort様が共同開発した次世代型宅配システム。Pabbit搭載のインターホンで、伝票番号や荷物情報を宅配業者のシステムと照合して認証、荷物が配達中の場合のみオートロックを解錠する仕組み



## 未来の担い手たちが佐川急便で物流を学ぶ！ 大規模物流センターで社会科見学を開催！

当社グループの大規模物流センター「Xフロンティア®」(東京都江東区)にて近隣の小学校の5年生を対象とした社会科見学を開催しました。子どもたちは、お荷物の届く仕組みを勉強した後、さまざまなトラックや最先端の物流機器・ロボットを見学。「なるほど！」「すごい！」という声があがり、物流に興味を持ってもらう良い機会となりました。



飛脚のcocoro®



トラックと荷台の連結シーンは  
迫力満点！



自動棚搬送ロボットの見学



自動ピッキングシステムの見学。  
みんな熱心にメモをとります



子どもたちとたくさん  
ふれ合いました！

『物流を止めない 持続可能な物流を』 特設サイト「佐川コラム」をスタート  
環境活動や社会貢献活動などリアルな「等身大の佐川」を紹介。「物流2024年問題」への対応など持続可能な物流の実現に向けた当社の取り組みを適宜発信しています。  
<https://www.sagawa-exp.co.jp/column/>

